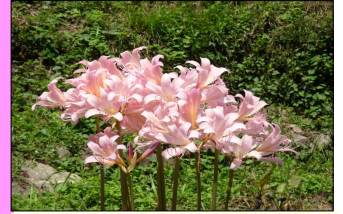


さくぎ町民だより



発行 （一社）作木町自治連合会

三次市作木町下作木905-2 文化センターさくぎ

TEL 0824-55-2115 FAX 0824-55-7010

メールアドレス bs.sakugi@pl.pionet.ne.jp



ホームページQR

9月号

みんなで防災意識を高めよう！ 作木町防災講演会 開催

8月20日（日）作木町自主防災会主催の防災講演会を、作木山村開発センターで開催しました。

当日は60名の参加者があり、広島県消防学校校長の川村道典氏から「みんなで防災意識を高めよう」をテーマに講演が行われました。

参加された皆さんは、三次市のハザードマップで自宅の災害リスクをチェックし、災害の危険性と日ごろからみんなで取り組む防災について考える貴重な時間となりました。



○町民の皆さんに知ってほしいこと

日ごろから、我が家の避難の目安を家族で決めておく

・避難の基本は、

① 気象情報

② 避難情報

③ 自宅の周辺で異常な前ぶれ（腐ったようなにおい、木がぼきぼき折れるような音など普段と違う様子）

・防災は自分のこととして受け止める。今まで大丈夫だったから、の思いは捨てて。

・避難は勇気がいること。「私と一緒に避難をしましょう」と声をかけあうと避難をしやすい。

・避難先は地域の避難所だけではない。町外の施設、親せきや友人の家など自分が安全と思われる所を避難先と決めておく。そして地域の防災役員へ「私は○○を避難先として決めていきます」と、伝えておく。

・避難先に着いたら、「○○○に避難しました」と防災役員へ伝える。避難先では災害関連死の防止のため、できるだけ身体を動かす。避難中に身体の調子が悪くなったらがまんをしない。

・消防団や自主防災組織の活動に理解と協力を願いたい。地域の防災にむけて、平時時も有事も活動がされている。逃げ遅れは本人も危険、救助も危険。一人ひとりが地域の防災を担っている

ことを意識してほしい。

○我が家の防災タイムラインを活用してください

講演会では、ご家庭で防災について話し合うための資料として、我が家の防災タイムラインが紹介されました。この資料は、文化センターさくぎに用意しています。どうぞご利用ください。

我が家の防災タイムライン
作木町自主防災会

お名前【 】 携帯番号【 】

日頃からの備え

1 自宅をハザードマップで確認！
☐ 土砂災害
☐ 洪水
 ①の場合、色は？【 】 ②の場合、水深は？【 】
 ③がない場合は、自宅を安全確保（できれば避難者の受入を）

2 避難時の持出品
☐ 貴重品（財布、保険証、運転免許証、印章（コンタクト）、携帯電話など）
☐ 処方薬 ☐ 当座の食料、飲料水 ☐ 寝具類、タオル
☐ その他持ち出し品など（ ）

3 積極的な情報収集
 気象情報や避難情報をテレビ、ラジオ、スマホ、音声告知放送などから

4 避難のタイミング
 ①基本の目安 ☐ 支援が必要⇒ 警戒レベル3高齢者等避難
 ②我が家の目安 ☐ それ以外⇒ 警戒レベル4避難指示

5 避難先と経路、方法
 避難先1 方法
 経路上の危険箇所
 避難先2 方法
 経路上の危険箇所

大雨の際には、
 ①気象情報、避難情報をもとに
 ②タイミングを逃さず
 ③声を掛け合って
 ④早めの避難を

大雨の際の主な災害リスク
☐ 土石流が崩れ ☐ 洪水

どこが安全？ 避難するときに、家族やご近所と声かけあって避難

特に、要支援者には声かけなどの避難支援を

声掛け先（電話、メールなど）
 氏名 連絡先
 氏名 連絡先

作木放課後子ども教室の夏休み

子ども教室の夏休みは、作木支所で開設しました。地域の皆さんの協力をいただきながら、ごらんの体験学習を行いました。



鮎のつかみ取り体験



水中生物学習会



食推さんと昼食づくり



科学教室スライムづくり

休み中は、プールを利用したり、作木支所の集会室で遊んだり、みんな楽しく、にぎやかに過ごしました。

久々の夏祭り 伊賀和志区

会うごとに「暑い暑い!!」という言葉が交わされる8月、区においては夏祭りを4年ぶりに再開いたしました。依然と感染が続いている時期ではありましたが、地域では、早く元の生活になる日を祈るとともに祖先への感謝の気持ちをもつて夏祭りをすることに決定いたしました。

役員をはじめ地域住民の皆さんが、積極的に前日の夕方から準備にあたってくださり、8月13日午後8時いよいよ開会。徐々に地域の方や帰省された方々、また、他地区の方々などが集まりにぎやかになってきました。全員で盆踊りを踊り、その後、焼き鳥などのバザーを行い、そして子供向けの、ヨーヨー釣り、うどん焼きなどメニューの豊富な祭りとなりました。久しぶりに会った喜び、懐かしさを語る情景を見て何とも言えない気持ちになったひと時でした。

最後は、地元神楽団の皆さんにより酷暑の中、神楽を演じてくださり祭りを盛り上げてくださいました。これからも、住民が協力し合って明るく楽しい地域づくりになるよう頑張ってくださいと思います。（高川 豊）



6年ぶりの盆おどり

峠下区

今年は酷暑となり、今後もしばらく続きそうな真夏に疲れが見え始めております。

そのような中、峠下区では8月14日に6年ぶりに盆踊りを開催しました。

果たして地域の方たちの参加はあるのか？と不安を抱きつつ、当日の日中には皆さんの協力を得ながらやぐら組みを行いました。

花火を合図に午後8時半に開会し、輪投げ等のゲーム、たこ焼きやフライド

ポテトなどの屋台出店も行いました。

参加者については期待以上に多くの方においでいただくことができました。その中には若い方も多く「6年前は学生だったけど、20歳になりました」との声や「6年前はセーラー服を着ていた子がお母さんとなり、子どもを抱えている姿に年月の経過を痛感したのと同じ時に大変微笑ましくもありました。そして皆さん笑顔で盆踊りの輪を囲み、盛況のうちに閉幕しました。

少しずつではありますが、日常が取り戻せたこと、6年ぶりに笑顔で共に楽しめたことを非常にうれしく思えました。来年も笑顔で集えることを楽しみにしています。（滝岡 真二）





昨年のふるさとまつり

ちびふるさとまつりを開催します

皆ちびで来場ください

開催日時

10月22日（日）

10時から15時30分
まで

会場

文化センターさくぎ

今年も町民の皆さんに楽しんでいただく内容を計画しています。特に今年は子どもたちが楽しめる内容を増やして開催します。

くわしくは、今月の常会文書でチラシを配付していますのでごらんください。

自治連からのお知らせ

フリーマーケット出店募集

ふるさとまつり会場でのフリーマーケットの出店を募集しています。

出店希望の皆様は10月10日（火）までに、文化センターさくぎにお知らせください。

町民作品展作品募集

ふるさとまつり会場で町民作品展を開催します。皆様の作品をぜひご出展ください。展示作品は10月18日（水）までに、文化センターさくぎにお持ちください。なお、展示期間は10月31日（火）までとなります。よろしくお願ひします。

【問い合わせ先】

さくぎふるさとまつり実行委員会
文化センターさくぎ

TEL 55-2115

年配者むけ
スマートフォン教室

9月6日（水）文化センターさくぎで開催されました。

当日は、スマホアドバイザーから練習用スマホを使ってLINEとスマホ決済の活用について学びました。



環境・健康募金の
報告とお礼

6月に常会長を通じてお願ひをしていました募金は、募金額109,800円のご協力をいただきました。皆様ありがとうございます。この募金は町内の公衆衛生活動に活用します。

市政懇談会
まちづくりトーク

令和5年度市政懇談会「まちづくりトーク」が7月31日に作木山村開発センター集会所で開催され、59人の参加がありました。福岡市長から市政への取り組みについての説明があった後、参加者との意見交換が行われ、次のような意見・要望が出されました。

- ・道路側溝に溜まった落ち葉などの除去をお願いしたい。
- ・道路の支障木の撤去をお願いしたい。
- ・熊やイノシシなどの生態をはじめ農作物への被害対策についての勉強会を開催してほしい。
- ・集会所の維持管理に困っている。自治連への補助金を使いやすくして、維持管理にも使えるようにしてほしい。
- ・作木に住んで良かったと思えるまちにするため、自治連への補助金を増やすべきだ。
- ・スポーツのまちとして、トライアル競技などのマ



イナースポーツにも目を向けてほしい。

次回の町民だよりは
11月に発行します

令和5年 秋の全国交通安全運動

実施期間 令和5年9月21日(木)～9月30日(土)

交通事故死ゼロを目指す日:9月30日(土)

令和5年 広島県交通安全年間スローガン 『運転は ゆとりとマナーの ニ刀流』

作木郷土資料館の紹介

作木中学校2年生は7月6日～10日までの3日間、町内の事業所で職場体験を行いました。

作木町自治連合会では、加古山 佑さんが体験をし、自治連の管理している下地区自治交流センターにある郷土資料館がより多くの人に利用してもらえるように取材をして、次の記事を作りました。

作木郷土資料館を紹介し

ます。この資料館は、作木下地区自治交流センター「めんがめ」内2階にあります。

この資料館には、3つの展示室があります。「つながり」と「しごと」、「くらし」の部屋です。「つながり」の部屋は動物の狩りをする道具のほか日用品や娯楽に関する民具などがあります。「しごと」の部屋は春夏秋冬の生産に関わる道具があります。「くらし」の部屋は衣、食、住の道具がたくさん展示しており、当時の人たちの暮らしぶり



がしのべれます。

入館日は毎週水曜日（祝日でも入館可能）

入館時間は10時から12時まで、13時から16時まで

ただし年末年始（12月28日から1月4日まで）を除く

入館料 無料

入館を希望される際は事前予約が必要です。

予約先 作木町自治連合会

（TEL 55-2115）

作木消防から

「台風と残暑にご注意を！」

9月は台風が発生しやすい時季です。台風や気象に関する情報を集めるとともに不要な外出は避け、暴風により飛散の危険があるものは固定するなどの対策を行い、日頃から避難場所や避難経路を確認しておきましょう。

また、日本の平均気温は年々上がってきていることから、9月も猛暑が続くことが予想されます。引き続き熱中症対策を徹底し、水分補給や休息をこまめに取りましょう。

火災・救急の件数

7月 火災0件・救急7件

8月 火災0件・救急11件

◎火災と救急のときは119番

三次消防署作木出張所

TEL 55-3109

お出かけ前とおやすみ前には火の元の確認をしましょう。



防災への想い 災害復旧記念碑

この記念碑は下作木の県道62号線沿いの作木農畜産物処理加工施設の近くに設置されています。



昭和7年（1932年）7月に発生した集中豪雨は作木川、香淀川流域ほか、町内に甚大な被害を発生させました。この記念碑は当時の作木村の皆さんが災害から復旧した記念として、また災害の恐ろしさを忘れずに地域を守っていくことを教訓に設置されました。近年も災害が予想されるような豪雨が発生しています。災害を忘れず、防災への備えをしていきましょう。

三次の住まいの相談室 しんわホーム

リフォーム・新築・増築

土地・建物の賃貸売買

給排水工事・電気設備工事

宅地造成・維持修繕

フリーダイヤル 0120-344-130

定休日 日曜日

営業時間 9:00～18:00

